

宗内寺院紹介 **29**

金鑽山
一乗院

大光普照寺



1



3



2



4

①山門 ②本堂 ③鐘楼 ④黒門

飛鳥時代に聖徳太子の草創舒明天皇の勅願寺と伝えられ、平安の初期仁明天皇の御代（八三三〜五〇）慈覚大師円仁が入山して本尊に十一面観世音菩薩を安置し、天台宗の寺となる。平安中期、第十八代天台座主元三慈恵大師ご留錫の折、ご自作の像を奉安、以来元三大師の寺として世に知られるようになった。

鎌倉末期、川越の喜多院より尊海の弟子豪海が入山、中興の祖となり、金鑽談所という僧侶の学問所が開設され、関東の三談所と称し、その後教を増すことにより八箇檀林の一寺となる。関東一円に及ぶ多くの信者の参拝があり、金鑽の「お大師様」「厄除けの」「お大師様」と親しまれ、また県立上武自然公園の中心に位置し、その他、児玉霊場三十三番札所・関東百八地藏霊場第十八番札所にも指定されている。

金鑽山
一乗院 大光普照寺

住所／〒367-0233 埼玉県児玉郡神川町二ノ宮667-1

電話番号／0495-77-2382